

まちとは

議論沸騰

今回のテーマは「持続可能なまちとは」です。

全国で高齢化と人口減少が続くなか、大山町も例外ではありません。将来のまちづくりについて討論をしました。

各議員の意見

【大杖】 持続可能な社会は、江戸時代を参考にすべきです。本町は10年プランで、楽しさ自給率の高いまちを目指しています。地域内にあるものを大切にすることが大事です。

【野口俊】 経済的に豊かなまちづくりを考えていくべきと思う。各種税や料金の低減や優良企業の誘致、各種補助金の充実、また、巡回バスが短いサイクルで回り、人口もピラミッド型になる施策を目指すべきです。

【門脇】 自治体が持続可能なまちであるためには、後継者を作る以外はありません。後継者の育成、成長、人材育成に主眼をおいて取り組むべきです。

【森本】 生まれてから住み終わりまで、このまちで良かったと思えるよう、官民の連携をより強めて、まちづくりに改めて向き合う必要が

あると思います。

【西山】 持続可能なまちとは、共生のまちづくりだということだと思います。心豊かなまち、支え合いのまち、これを作るといふ町民づくりをしなくてはならないと思います。

【池田】 欠かせないものは、コミュニティケーションだと思います。移住された人、子育てや介護に関わる人などの横のつながりを作るのも、持続可能なまちへの一歩だと思えます。

【大森】 子育てがしやすくて、高齢者が大切にされて、住んで良かったということ、多くの住民が思うまちではないかと思う。全ての住民に一番がある工夫を考える必要があると思います。

【吉原】 スローガンとしては、「あなたのふるさとになりましょう」プロジェクト、というようになことを考えてみて、住み続けたい、住んでみたいまちを目指していったらと思っています。

【加藤】 今の人口の1/4程度という時代に地域が維持できた理由があったはず。行政として将来像を明確に示して、将来に備える人材を育てることが大切です。

【岡田】 教育、子育て支援、福祉が充実したまち、環境、借金のないまち、コミュニティが多いまち、防災に強いまち、少子化対策、産業振興、結婚促進対策などを充実していくべきです。

【西尾】 他人の禰なまこで相撲を取るといふような考え方をしたらどうかと思っています。そのためには既にある強み、魅力を評価し、アピールすることで開けるとしています。

【野口昌】 社会全体で、少子化を乗り越えていかなければいけないと考えます。経済的問題もあるが、少子化と言う点が大きいのではないかと思っています。

【近藤】 人口が再生産されることが基本です。必要なも

のは仕事です。それに必要な産業とは何なのかという点、観光しかないと思いません。

【大原】 中心になるものは人口対策です。三世代同居の数を増やす施策を、今、住んでいる我々が次世代になく課題ではないかと思えます。

【米本】 行政任せばかりでは駄目だと思います。自分たちも動いて協力しながら働く、つまり、行政は協働のまちづくりを推進していくべきだと思います。



地域で深める学びの輪（生涯学習大会）